

新病院ニュース

● 新病院 開院移転スケジュール

加古川西市民病院・東市民病院は7月に新病院（仮称：加古川中央市民病院）へ統合・移転いたします。
 新病院での外来診療の開始は7月4日からとなります。
 移転に伴いまして一定期間は、外来および救急などの診療を一時的に休診させていただきます。
 大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解の程よろしくお願いたします。
 患者さんの安全確保のため一部休診いたしますが、地域の医療機関と連携し、地域の皆さまの医療確保に努めます。

（仮称）加古川中央市民病院 開院移転スケジュール

	6/20(月)~24(金)	25(土)・26(日)	27(月)	28(火)~30(木)	7/1(金)	2(土)・3(日)	4(月)	5(火)・6(水)
診療場所	西市民病院・東市民病院			移転作業期間	【開院】（仮称）加古川中央市民病院			
一般外来	通常診療	休日	通常診療	休診日	休日	外来診療開始日	通常診療	
救急外来	通常診療			休診日	通常診療			

● 新病院 市民見学会を開催します

開院前にご覧いただける機会です。ご希望の方は、以下の要領にてお申込みください。

- 日 付：6月12日(日)午前9時～午後4時
- 内 容：外来診療エリアや病棟などの見学(1時間程度)
- 定 員：1000名(申込者多数の場合は抽選)
- 参 加 費：無料
- 申込方法：5月16日(必着)までに、往復ハガキに ①参加者数(最大3名まで)、代表者の②住所③氏名・ふりがな④電話番号⑤返信ハガキに宛名を書いて

〒675-8611 加古川市米田町平津384-1
 加古川市民病院機構「新病院見学会」係

抽選結果および時間は、6月初旬にお知らせします。
 ※時間の指定はできません。

- お問い合わせ：加古川市民病院機構 TEL 079-434-2051



● 外来予約変更についてのご案内

新病院への移転にともない、診療予約を変更する場合がありますため、現在取得されているご予約の変更をお願いすることがございます。
 平成28年7月以降のご予約で、予約変更がある患者さんについては、封書にてご連絡させていただきます。
 変更後の予約日において、ご都合の悪い方は予約日の調整を行わせていただきますので、予約を取得した病院の予約係へご連絡ください。
 ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

加古川西市民病院

〒675-8611 兵庫県加古川市米田町平津384-1
 TEL:079-432-3531(代)

加古川東市民病院

〒675-0115 兵庫県加古川市平岡町一色797-295
 TEL:079-437-2515(代)



地方独立行政法人

加古川市民病院機構

<http://www.kakohp.jp/>

加古川市民病院機構から地域の皆さまへ



新病院開院まで2ヶ月
 さらなる医療の充実へ

連載特集 5大センター(心臓血管センター) P2~3

新病院に向けた「New Technology」

新病院では、最新の設備・医療機器を導入します。
 これらの「新技術」も導入し、安全で安心な医療を展開していきます。

手術支援ロボット(ダヴィンチ) ~兵庫県下No.1のグレード~



~最先端の技術と科学の融合~ ハイブリッド手術室

マグネティックナビゲーションシステム ~より安全な不整脈治療に向けて、全国で2番目に導入~



~計画通り正確な位置に人工関節を~ 関節手術ナビゲーションシステム

※写真はイメージです

特集

5大センター

心臓血管センター

心臓血管外科

循環器内科

小児科

麻酔科

など

心臓血管外科

加古川東市民病院の心臓血管センターの機能を継承し新病院における循環器疾患を取り扱います。緊急症例の受け入れを強化して播磨地域で発生した疾患は当院の中で治療の完結を目指します。4月からは小児心臓血管外科が新設され周産母子センター、こどもセンターと提携しながらこどもから成人まで幅広い分野での心臓血管手術が行えるようになります。新病院の手術室には緊急大動脈疾患に対する放射線血管内治療と開心術が同時に行えるハイブリッド手術室が備わります。これにより効率が良く患者さんの負担が少ない手術が可能となります。将来的には高齢者、重症例におけるカテーテルを使った大動脈弁治療の実施を目指しています。



心臓血管センター センター長(兼)
心臓血管外科部長(兼)中央手術室長
脇山 英丘

小児 心臓血管外科

心臓血管外科内に小児部門を開設するため県立こども病院から赴任しました。心室中隔欠損、心房中隔欠損などの先天性心臓疾患を中心にこども病院等とも連携を取りながら外科治療を行っています。成人された患者さんにも対応させていただき予定です。



心臓血管外科 科部長 **圓尾 文子**

あらゆる循環器の病気に対応
～こどもから高齢の方まで
幅広い医療を～

循環器内科

心臓血管センターは24時間365日の受け入れ体制で循環器疾患、血管疾患全般にわたり診断・治療を行っています。特に不整脈に関しては新病院ではマグネティックナビゲーションシステムという最新機器を用いたカテーテルアブレーション治療を開始します。このシステムを用いることにより放射線被曝を軽減でき、より安全に複雑な不整脈の治療が可能となります。また心臓血管外科と協力し弁膜症に対するカテーテル治療も導入していく予定です。小児循環器内科の先生も加わり、小児から成人と幅を広げ播磨地域のあらゆる循環器疾患に対応していきます。



心臓血管センター 副センター長(兼)循環器内科 科部長 **角谷 誠**

末梢血管の疾患

閉塞性動脈硬化症(下肢の動脈がつまる病気)・深部静脈血栓症(静脈が血栓で詰まる病気)・下肢静脈瘤などに対して、循環器内科・心臓血管外科・形成外科・腎臓内科を中心としたフットケアチームで治療を行っています。歩くと足がだるい、足がむくむ、足に傷ができて治らないなどの症状があれば、かかりつけ医にご相談の上、当院を受診してください。



循環器内科 医長
中村 浩彰

小児循環器

こどもの心臓の病気の診療に関して、2015年4月より常勤医が赴任、2016年4月よりさらに3人に増員、小児心臓外科医も着任し、充実した体制になりました。新病院移転後は、小児のみならず成人になられた患者さんに対しても、心臓血管センターの循環器内科、心臓血管外科部門と密接に連携協力した医療を提供させていただきます。



小児科 医長 **佐藤 有美**

心臓 麻酔について

心臓血管センターへは重症の狭心症・心筋梗塞や大動脈解離の患者さんが救急車で搬送され、そのまま緊急手術を受けられることも少なくありません。そのような患者さんの麻酔には大きな危険性を伴います。当院では、心臓麻酔の経験豊富なスタッフが、いつでも緊急心臓手術に対応できるよう準備しています。7月からの新病院では、最新の3D心臓エコーやモニター類が整備されます。

麻酔科 顧問 **北村 参治**



循環器内科 科部長 **岡嶋 克則**

不整脈チームについて

当院では複数の不整脈専門医やスタッフが協力して患者さんに合った医療を提供します。新病院ではマグネティックナビゲーションシステム(※)が稼働予定で、治療の選択肢は更に広がります。不整脈でお悩みの方は、かかりつけ医にご相談の上、当院を受診してください。

マグネティックナビゲーションシステム

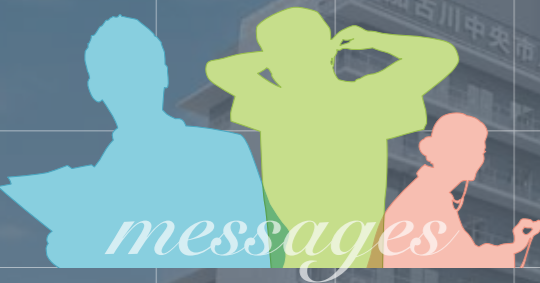
不整脈の治療のためのカテーテルアブレーションをより安全にかつ正確におこなうことを目的とした装置です。患者さんへのX線被ばくの低減も報告されています。医師は別室の操作室から、最新のコンピュータを用いて、患者さんの横に置かれたマグネット(磁石)を動かしながら、カテーテルを必要な部位に誘導していきます。カテーテルの動きを非常にきめ細かく制御可能なため、安全かつ正確なカテーテルアブレーションが期待されます。



ハイブリッド手術室

新病院では、高精度な血管カテーテル治療を行いながら手術が可能な「ハイブリッド手術室」を設置します。これまでは、血管造影室と手術室は別々であったため、患者さんの移動が必要になり、迅速な対応が難しく、身体への負担もありました。ハイブリッド手術室では、この問題が解決されます。また手術台も可動し、患者さんは横たわった状態のまま様々な角度の治療が可能になるので、さらに精度の高い手術も期待できます。





「ル」×「メッセージ」

— 新病院へつなぐ —

手術支援ロボット (ダヴィンチ)

腹腔鏡手術を医師が操作するロボットの手により行います。

<メリット>

- ①メスやカメラが入る小さな穴から手術が可能なので、患者さんの体の負担が少なくなります。
- ②人の手よりも多い関節を持ち、スムーズに動きます。手ぶれ補正機能もあり、精密な手術が可能です。また3D画像を拡大し細部まで確認できます。これにより、合併症や再発を減らす可能性があります。

現在、前立腺がん、腎がん(腎部分切除術)に保険の適用が認められており、今後は、適用の拡大が期待されています。新病院では、「ダヴィンチ」の中でも、現在最も精度の高い最新機種を兵庫県下で初めて導入します。



整形外科 主任科部長 **西山 隆之**

整形外科は、新病院開院に伴い、後期研修医を含む常勤医師7名の体制となります。加古川東市民病院ならびに加古川西市民病院で対応してきました骨折、脱臼、靭帯損傷等の外傷性疾患はこれまで通り、積極的に受け入れていきます。また、加古川東市民病院で既に開設しております関節センターでの人工関節手術、骨切り術等の関節温存手術、関節鏡手術もさらに力を入れていきます。特に新病院では、関節手術ナビゲーションシステムを導入します。これまで以上に確実に安全な手術治療を行う事ができるようになります。関節に特化した関節センターでの治療を中心に、地域の整形外科の拠点病院となるように努力して参ります。

整形外科



関節手術ナビゲーションシステム

※写真はイメージです



整形外科 医師



人工関節置換術は、傷んだ関節を人工の関節に置き換える手術です。この手術では、術前の計画通りに正確に人工関節を入れる事が非常に重要です。この事が、手術後の関節の機能や耐久性にも大きな影響を与えます。関節手術ナビゲーションシステムは、このような手術で大きなメリットを持ちます。

<メリット>

- ①手術前には、CT画像などを使って最適なサイズの人工関節を最適な位置に置き換えた場合のシミュレーションができ、綿密な術前計画が可能となります。
- ②手術中は、術前のシミュレーション通りに手術が行えるようにコンピューターがナビゲートすることにより、安全で正確に手術を行う事ができます。

また、このシステムは、人工関節手術のみではなく、若い人に行われる骨切り術などの関節温存手術でも使用可能です。安全で確実である事に加えて、低侵襲手術などの身体への負担を抑えた手術にもつながる非常に有用なシステムです。



※写真はイメージです

泌尿器科 主任科部長 **岡 泰彦**

この4月より、常勤医が1名増員され3名体制になりました。7月の新病院移転に伴い手術支援ロボット(ダヴィンチ)が導入されることが決定しており、早期にダヴィンチ手術がスタートできるよう、全力を挙げて取り組んでいます。また、従来より行っていた前立腺肥大症に対する経尿道的前立腺レーザー核出術・上部尿路結石に対する経尿道的上部尿路結石レーザー砕石術も積極的に行っていきます。

泌尿器科 科部長 **酒井 豊**

この度兵庫県立がんセンターより異動して参りました。2012年にロボット前立腺手術が保険適応となり、2013年より100例以上のロボット手術にたずさわってきた経験を新病院でも生かしていきたいと意気込んでおります。



泌尿器科





歯科口腔外科 主任科部長(兼)口腔管理室長 **橋 進彰**

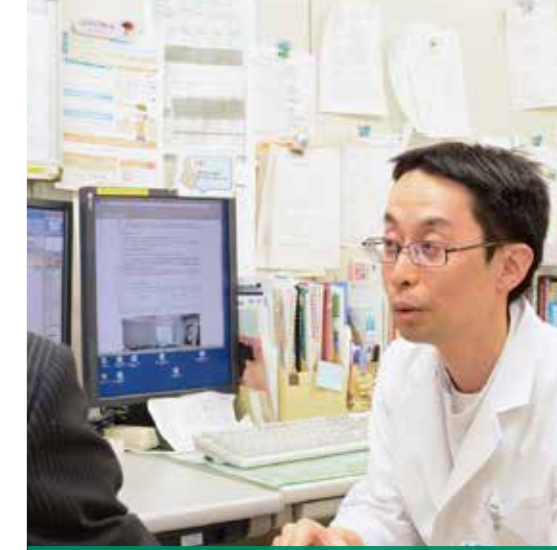
歯科口腔外科は顎顔面領域に発症する各種疾患を扱う診療科です。対象はあごの骨にできるできもの(良性・悪性)、親知らずの抜歯、膿の袋(嚢胞)、あごの骨が腐る(顎骨髄炎)、交通事故などによる顎骨骨折、虫歯や歯周病がひどくなりあごや頬が腫れる歯性感染症、不整脈や脳梗塞などで抗凝固療法中の患者さんの外科処置などです。基礎疾患を有している場合には医科主治医の先生への対診を行い、全身状態の把握をし、必要な対応を考え、外科的な治療にあっております。一般歯科治療は行っておらず、地域かかりつけ歯科の先生にお願いしております。また緊密な連携のもと、必要な外科的な処置については紹介をさせていただいております。



歯科口腔外科

皮膚科 主任科部長 **山田 陽三**

当院は、赤ちゃんから大人まで幅広く対応できる診療科がそろっています。当科では、各診療科にともなう皮膚病変から、小児・成人のアトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、蕁麻疹、乾癬、薬疹、白斑、水疱症(天疱瘡、類天疱瘡)、紅皮症、皮膚腫瘍などの皮膚科独自の疾患まで幅広く診療にあっております。なかでもパッチテストによる薬疹や接触皮膚炎の原因検索や、リウマチ科と連携して膠原病に伴う皮膚病変の診断や治療、乾癬に対する紫外線療法や難治性な場合の生物学的製剤の導入などを積極的に行っております。一人一人満足のいく診療をこころがけ皮膚科の地域医療に貢献できるよう努めてまいります。



皮膚科



歯科口腔外科 医師



救急科 医療スタッフ

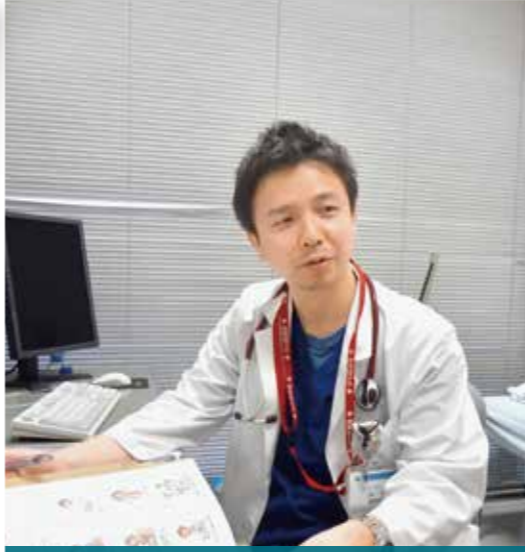
西市民病院 院長補佐(兼)救急科主任科部長 **切田 学**

救急科は主に昼間帯に救急車で搬入される、あるいは直接来院されたあらゆる救急傷病者(病気、外傷、中毒、動物咬傷など)の初期診療に当たります。救急診療で最も重要なのは時間です。どの傷病者にも、迅速な病歴聴取と身体所見把握、同時に処置(点滴、採血、創傷処理など)と諸検査(血液・超音波・CT・X線・心電図など)を行い、診療開始40分以内に診断と治療方針を決定します。病状によっては専門医とともに診療に当たります。

また、地震、洪水、竜巻、台風、火事、列車・バス事故、テロなどによる災害医療を念頭においた救急診療(迅速なトリアージ、処置、複数傷病者受入れ)を実践します。発症現場で生命危機に瀕している傷病者には、できる限り医師、看護師、救急救命士が現場に向かい(ドクターカー)、より早期の救命処置を行ってまいります。



救急科



リウマチ科

リウマチ科 医師 **山根 隆志**

関節リウマチを含めた「膠原病」はいろいろな臓器の障害を起こす可能性があります。7月からは、西市民病院と、東市民病院が統合されることで、膠原病性高血圧症、シェーグレン症候群など、耳なじみのない病気にもすみやかに対応することができるようになります。息切れや発熱、口や目の渇きで見つかることの多い病気ですので、気になる症状がありましたら、かかりつけ医とご相談の上、ぜひ当院へお越しください。



リウマチ科 医師



形成外科 主任医長 **岩谷 博篤**

皆さん形成外科という診療科はご存知でしょうか?知っていても実際どういう治療を行っているかはイメージできないのではないのでしょうか。形成外科は外見上の変形を治療する外科です。診療内容は多岐にわたり、熱傷(やけど)、顔面外傷(顔面骨骨折を含む)、四肢外傷、唇顎口蓋裂・合指症・多指症・内反症・折れ耳や埋没耳・臍突出症などのこどもの先天奇形、癌の欠損の再建、皮膚・皮下腫瘍(皮膚のできもの)、傷跡・ケロイド、褥瘡(床ずれ)・足壊疽などの難治性潰瘍(治りにくいキズ)、といったものがあります。

その他、静脈瘤、リンパ浮腫といった治療も行っております。当院では特定の疾患に偏らず、ほぼ形成外科全般の治療を受けることが可能ですので、お困りのことがあればかかりつけ医にご相談の上、当院を受診してください。



形成外科